

事務事業名		くずう原人まつり支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策 体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当 組織	担当部	産業文化部	担当課	商工課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	商工振興係	担当課長名	木村 晴一	
	施策	2 まちなかの活性化と公共交通網の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 地域市街地拠点(田沼駅・葛生駅周辺)の活性化の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算 科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10590	一般	7	1	2	くずう原人まつり支援事業					
	事業 計画	単年度繰り返し	事業 期間	S63年度～ 年度		根拠 法令 条例等					
								市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)					
<ul style="list-style-type: none"> 葛生むらおこし実行委員会(佐野市あそ商工会、市、各団体、市内事業者で構成、佐野市あそ商工会が事務局)が主催する「くずう原人まつり」の活動を支援する事業である。 くずう原人まつりは、嘉多山公園を会場として、8月第4土日に開催、まつりを通して地域に潤いと活力を与え、地域の文化向上、人づくり及び社会福祉増進に寄与することを目的に実施している。 原人ステージで、「プロコンサート」「灼熱のサンシャインライブ」(地元小中高校生などによる吹奏楽、田植え唄、歌舞伎等の実演)「原人チャレンジパーク」(弓矢、丸太切り、火おこしにチャレンジする古代体験イベント)「和太鼓の共演」などを実施、このほか、フリーステージでのライブ、朝市会売店、ふれあい動物園、「わんぱく広場」などを実施 市の取り組みは、実行委員会に対する補助金支出、広報さのへの記事掲載、チラシ全戸配布、テレビ広報さので情報掲載等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度は、27回目で8月23日(土)・24日(日)開催、一昨年度、昨年度に引き続き東日本大震災被災地復興支援の一環として「くずうから東北へ夢を！」をスローガンに、各種ステージや体験イベントを行い、会場内で募金活動も実施した。 市の取り組みとしては、実行委員会に補助金2,500千円を支出、また広報さのの記事掲載、テレビ広報さのの放映、広報さのの8月号と同時にチラシの全戸配布、8月定例記者会見で報道機関に情報提供を行った。 					
活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
広報さのの記事掲載回数	回	2	2	2	2	2
テレビ広報さのの情報提供回数	回	1	2	2	2	2

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

くずう原人まつり	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	ためまふるさと祭り開催日数	日	2	2	2	2	2
【補助対象団体】むらおこし実行委員会							

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的 財政支援及び広報支援を行うことで、まつり内容の充実化と円滑運営、来場者数の増加が図られる。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	くずう原人まつり来場者数	人	25,000	25,000	30,000	30,000	30,000

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

賑わいのあるまちなかになっている。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	イベントの参加人数	人	80,500	86,300	62,000	65,000	68,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円	1,250	1,250	500			
	地方債	千円						
	その他	千円	1,250					
	一般財源	千円		1,250	2,000	2,500	2,500	
	事業費計(A)	千円	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	2,500	補助金	2,500	補助金	2,500
	人件費	人	2	2	2	2	2	
のべ業務時間	時間	80	80	80	80	80		
人件費計(B)	千円	311	315	315	315	315		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,811	2,815	2,815	2,815	2,815		

事務事業名	くず原人まつり支援事業	担当部	産業文化部	担当課	商工課	担当係	商工振興係
-------	-------------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧葛生町において、昭和62年度に県地域小規模事業活性化推進事業を開始、商工会を事務局としたむらおこし実行委員会が組織化され、昭和63年度からくず原人まつりが開催された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成26年度で27回を迎えたが、開始当初と比較して夏のイベントとして市民の間に定着している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	民間主導のイベントとして成功しているので、継続して実施して欲しいとの意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	平成26年度は改革改善の取り組みは特に実施していない。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	嘉多山公園を会場として行うくず原人まつりを財政面や広報面で支援することで、まつりの充実化や円滑運営に貢献することは、来場者数の増加につながり、まちなかの活性化に結びつくものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案	事業主体はむらおこし実行委員会である。市としては、財政面及び広報活動の支援を実施しているが、まちなか活性化に資する事業のため、現状の関与は妥当なものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は、財政支援及び広報支援を行うことで、まつり内容の充実化と円滑運営、来場者数の増加を図る目的で実施している事業のため、対象・意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	市は広報活動の支援をしており、広報さへの記事掲載、テレビ広報さの、チラシの全戸配布及び各報道機関への情報提供を行っているが、佐野地区、田沼地区の住民や市外の方に来ていただけるよう、市のHPを活用するなどして、より効果的な広報の在り方を検討することも必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名 葛生地区で開催される同規模のまつりはない。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費については、実行委員会に対する補助金のみである。実行委員会として財源確保や市に頼らない運営を実施しているため、現状では補助金削減は難しい。人件費は、実行委員会に対する補助金支出、広報活動、会議出席のための業務所要時間であるが、最低限の時間のため、削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	この事業の直接の受益者は、むらおこし実行委員会であるが、間接的には原人まつりに参加する市民である。そのため、受益者は特定されないため、受益者負担を求めない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	くず原人まつりが終了した場合、本事業も終了となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 佐野地区、田沼地区の住民や市外の方に来ていただけるよう、市のHPを活用するなどして、より効果的な広報の在り方を検討することも必要である。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			×																					
	低下		×	×																					